

熊本県立芦北高等学校 令和元年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業学習指導案

- 1 題材名 地震・津波災害に備える
- 2 日時 令和元年11月8日(金) 5限(13時30分～14時20分)、6限(14時30分～15時00分)
- 3 生徒 2学年(3クラス)
- 4 場所 視聴覚教室、各ホームルーム
- 5 授業者 2学年職員(学年主任1人、担任3人、副担任3人)
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点

地理歴史「地理総合」⇔ホームルーム活動「地震・津波災害に備える」⇔学校行事「避難訓練」

7 ねらい 地震・津波災害について理解し、災害時の行動について考える。

8 展開

時間	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ○指導のポイント ◆評価
13:30	1 心のケアを受ける。 2 熊本における過去の地震・地震の種類について学ぶ。 ★過去にどのような場所で、どのような規模の災害が起こったのでしょうか	○生徒の心身の状態に十分配慮する。〈手引を活用〉 ○過去におきた地震・津波災害の被害や歴史について理解する。 〈映像資料、手引内資料を活用〉
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 地震・津波災害発生時の行動について考えよう </div>		
14:00	3 被害シミュレーション及び解説。 4 地震・津波災害からの身の守り方を理解する。 ★発生時に起こりうる危険を予測し、身の守り方を考えよう。	○映像を使い、地震の揺れの強さや一次避難の様子を見せる。 ○発生時の身の守り方や避難行動についてキーワードをもとに具体的に理解させる。
14:05	各ホームルームへ移動 ・グループで考える 5 発生時の行動について考える。 ★次の場所で地震が起きたとき、どのような行動を取ればよいか、事例をもとに考えよう。	○グループでキーワードを引き出し、意見を共有させる。 ○学校にいる時だけでなく、家や通学中など自然災害はいつ・どこで起こるか分からないことを確認。 ○身を守る行動として正しい知識が身につけているか確認する。誤りがある場合には正しい行動を理解できるようにする。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> キーワード【地震】姿勢を低くする。頭や身体を守る。揺れがおさまるまで動かない。 落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に身を隠す。 大きな地震の後も同規模程度の地震が起こることがある。等 【津波】速い、高い、繰り返す。・迷わず高いところへ避難し、戻らない。等 </div>		
14:30	(1) グループで場面について考える。 (2) 全体で発表する。 6 学習のまとめ。	○自らが率先して避難行動を行うことで他者の避難行動を促すことができることを理解させる。(率先避難の視点) ◆とるべき行動について考えている。〈ワークシート〉 ○学習を保護者等とも共有し日ごろの備えが安心につながることをおさえる。